

## 平成 30 年第 2 回加西市教育委員会会議録

- 1 開会日時 平成 30 年 2 月 21 日 (水) 14 時 00 分
- 2 閉会日時 同 日 15 時 00 分
- 3 開催場所 加西市役所 5 階会議室 (大)
- 4 出席者 教 育 長 高 橋 晴 彦  
委 員 内 藤 堯 雄  
委 員 渡 邊 隆 信  
委 員 多 田 久 子  
委 員 沼 澤 郁 美

5 上記出席者及び傍聴人を除き、会議に出席した者の氏名

教育部長	達 可 忠 久
次長 (子育て未来政策担当)	中 倉 建 男
次長兼教育総務課長	内 藤 利 樹
参事兼学校教育課長	本 玉 義 人
こども未来課長	伊 藤 勝
生涯学習課長	森 幸 三
図書館長	高 井 聡 子
総合教育センター所長	植 田 正 吾
教育総務課長補佐兼総務係長	民 輪 寛 美

6 付議事項

議案第 7 号 加西市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令の制定について

7 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

8 質問及び討議の内容

議案第 7 号 加西市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令の制定について

教育総務課長より説明を行う。平成 30 年 4 月より、北条幼稚園と北条西保育所を統合し、北条ならの実こども園を設置するため、北条ならの実こども園の公印の調製と北条幼稚園、北条西保育所の公印を廃止するものである。

## 9 議決事項

議案第 7 号 加西市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令の制定について

原案通り可決

## 10 報告事項

### 教育長

この 1 月間の主な事項、参加行事等について報告する。

#### (1) 2月1日 加西市コンプライアンス確立会議

現状報告等を行ったが、各学校での取り組みが組織として根付いているので、市全体で指導するこの会議の役割は終わったものとして今回で終了することとさせていただいた。少子化の進展に伴い、新たな課題も生じてくるので、次の方向へ進んでいきたいと考えている。会議は終了するが、アンケートは引き続き行うこととしている。

#### (2) 2月2日 校長会

事務連絡後、下里小学校から学校経営発表をしてもらった。情報共有として経営発表を行っていただいているが、方法を研究する方向で検討を依頼している。

#### (3) 2月3日 加西市区長会総会

市長より、市政全般の報告があった。教育委員会からは、平成 29 年度の各課の取組、教育施設連絡先一覧、平成 30 年度の幼保施設の入所申込状況を資料として提出した。

#### (4) 2月5日 さわやか市民賞授与式

北条小学校 3 年山内莉瑚さんが、平成 29 年度人権問題文芸作品「のじぎく文芸賞」最優秀賞受賞、北条小 6 年松本実子さんが、第 90 回小・中・高校絵画展で学年最優秀賞を受賞、富合小学校 6 年の松末優空さんが、平成 29 年度みどりの絵コンクール「わたしが守りたい身近な自然」部門日本ユネスコ協会連盟賞受賞により、市長から授与された。

(5) 2月6日 子ども子育て会議

任期スタート年ということで、挨拶を行った。平成31年度は子ども子育て支援事業5カ年計画の策定、賀茂幼児園の在り方の検討を依頼している。

(6) 2月13日 市町組合教育委員会教育長会議（兵庫県民会館）

平成30年度の兵庫県教育予算と施策について各担当者から説明を受けた。スクールカウンセラー配置事業の拡大について、現在4中学校と北条小の5名を配置しているが、1名増の要望をする予定である。また、スクールソーシャルワーカー配置事業も拡大されるが、派遣日数の追加を要望する予定である。

(7) 2月14日 閉会中の総務委員会

教育委員会からは、幼少連携の状況、高校進学希望調査の結果、泉中学校区の幼児数の資料要求があり、提出した。

(8) 2月21日付けで3月市議会定例会に議案が提出された。教育委員会の関連議案は、先の委員会で審議された幼稚園の入園料廃止に関する幼稚園の設置及び管理に関する条例の一部改正と、富田の学童保育園2園設置に係る加西市学童保育園の設置に関する条例の一部を改正する条例、泉こども園設置における用地取得にかかる議案と補正予算、当初予算である。

教育委員より、経営発表についてどのようなローテーションで進めているのかとの質問がある。

学校教育課長より、毎年、市の指定が3校、そのうち2校が次年度の初任者研修の会場校、1校が学校経営の発表校、今年度は、昨年発表が終わった下里小で学校経営発表、加西中、富合小で初任者研修を行った。このようなサイクルで進めていると回答する。

教育部長より、もともとは教育委員会が指定している事業ではなく、校長会の自主研修であった。校長会のなかで、お互いの学校経営を披露して、評価をもらいながら今後にかかしていくための取組である。例年2月の校長会で、当番校の校長から概要と教頭から具体的な取組を発表していると回答する。

**参事兼学校教育課長**

加西市学校コンプライアンス会議について報告する。平成30年2月1日に開催した加西市学校コンプライアンス確立会議は、市内の小・中・特別支援学校の全教職員を対象として、12月に行ったコンプライアンスに関するアンケート結果を報告し、委員より意見をいただいた。アンケートの内容はP9、結果についてはP10～P15に記載している。経年

変化を見るために、昨年度と同様の設問で実施したが、ハラスメントに関する問 13 については、セクシュアルハラスメントに、パワーハラスメント、マタニティハラスメントの 2 つを加えて、教職員の意識を確認している。

出席いただいた委員の皆様から、全体的に、教職員の意識が高まりつつあるとの評価をいただいている。ただ、さらにコンプライアンス意識を向上させていくためには、学校現場の教職員が、もっとゆとりを持てるようにすることが大切ではないかのご意見や特に小学校において、組織的に対応できるようにしていくことが必要ではないかのご意見をいただいている。

このアンケート調査結果や議事録については、校長会や教頭会で知らせるとともに、それぞれの学校のアンケート調査結果を送付して、研修等で活用いただくようお願いしている。

市全体のコンプライアンス会議については、本年度をもって閉じさせていただくが、今後ともそれぞれの学校において、教職員のコンプライアンス意識の向上に努めていきたいと考えている。

教育委員より、生活に関する問 5 「身近に悩みを話すことのできる相手はいますか」について、「どちらかといえば、そうではない」、「そうではない」という回答があり、「どちらかといえば、そうである」とあわせると約 40%を占める結果となった。先生方は、まじめで自分で対処しなければいけないと思ってしまうのではと感じたとの感想がある。また、公金等の適正な取扱いに関する問 20 「現金はロッカーや机に入れて保管せず、速やかに預金口座に入金していますか」について、先生方は忙しくされているので、すぐに預金口座にいれるというのは難しいと思う。学校に金庫等を置いて、いったん管理することはできないのかとの質問がある。

学校教育課長より、アンケート項目によっては、「そうである」という回答が 100%にならなければいけないものが本来であると考え。そのうえで問 20 であるが、否定的な回答もあった。各学校において管理職が責任を持って金庫に一時的に保管をする対応は可能であると回答する。

教育委員より、現金の保管場所は徹底したほうが良いとの意見がある。

教育委員より、議事録のなかで、委員より教職員のゆとりについての意見があり、そのひとつに部活動の指導のことがあった。先日の新聞報道で部活動の指導について取り上げられていた。加西市の場合、ノー部活デーの制度があるが、土日についてはどうかとの質問がある。

学校教育課長より、土日については、部活によっては大会があり、休めない場合もあるが、県教育委員会は、平日は週1日、土日は月2回休むように定めていて、年間を通じては守られている。季節によっては難しい場合もあると回答する。

教育委員より、一生懸命指導することに喜びもあるが、そのなかでもゆとりも必要であるとの意見がある。

教育委員より、教職員の非違行為に関する研修等については、教職員の意識の向上などに効果があったと思う。今後、各学校などで具体的な事例に基づいて実践力や組織力の向上を図るよう、いろいろな機会をとおして、指導していく必要があると考えるとの意見がある。

教育委員より、集計は加西市全体の結果であるが、学校ごとの結果はでているのか、また、会議は、全体と学校ごとの結果を見比べながら進めたのかとの質問がある。

学校教育課長より、会議は加西市全体の結果のみで進めた。その後、各学校に加西市全体と自校分を渡して、見比べてもらいながら検討をしていただくこととしていると回答する。

教育委員より、先ほど、課長より、回答によっては、100%そうであるという回答にならないといけないとの話があった。特に、体罰の問題、公金等の適切な扱いの問題は、なにかのほずみで大きなことになりかねないため、それぞれの学校で改善に向けた取組をしていただきたいとの意見がある。

#### こども未来課長

統合園と小学校との連携状況について報告する。昨年度、統合後の加西こども園の園児は小学校の運動会に参加しない方針を報告した経緯があり、統合後の連携状況について報告する。幼小交流は、保育・教育の一貫性を確保するため、指導者間で、話合いの場を持ち、相互理解、情報共有するねらいがある。統合以前は1小学校と1幼稚園の関係であったが、統合後は統合した園と複数の小学校との交流、小学校と私立園との交流など多様な連携の形に変わっている。そのため、指導者間の保育・教育に関する相互理解、情報共有が益々重要になっている。本年度は、加西こども園と九会小、富合小それぞれの交流、富合小と白竜こども園との交流を6月から2月にかけて、音読発表会など計9回実施した。

#### 総合教育センター所長

平成29年度センター教職員研修講座について報告する。今年度は、対象となる教職員による悉皆研修を7講座におさえ、教科実技講座等の担当者プラス希望者による講座を

15 講座、希望研修を 9 講座、特別講座を 14 講座開設する等、昨年度の教職員アンケート結果を活かし、魅力ある講座内容・著名な講師招聘等による希望研修等の充実に努めた。また、受講対象者を公立・私立幼保園に拡大した。その結果、講座総数は昨年度より 3 講座増え合計 45 講座を実施し、受講者数は昨年度より 95 名増え、合計 1,533 名となった。受講後アンケートによる評価は、5 段階で平均 4.61 と、昨年度よりも 0.14 ポイント上昇した。今後は、本会を含め定例校長会・センター運営委員会等において、研修講座のまとめを報告し、ご意見等を伺いながら、より喫緊の教育課題をテーマにした研修講座・教職員のライフステージに応じた研修講座等を、著名な講師を招聘しつつ、身近な教職員による教育財産の伝承も大切にしながら、センター研修講座の充実・発展等に努めていく。

平成 29 年度加西市における小中学生のインターネット等の使用の現状と今後の対策について報告する。今年度も 11 月に、市内小中特別支援学校 16 校の全児童生徒にアンケート調査を実施した。また今年度は、子ども達を取り巻くインターネット環境の変化に伴い、質問内容を大きく見直した。アンケート結果の考察については、県情報セキュリティーサポーターの篠原嘉一先生・センター特別監視員の筒崎眞美さんの監修のもと啓発リーフレットを作成した。インターネットに接続可能な端末の所持率は、小学生 74%・中学生 91%と年々増加しています。また、小学 3 年生から SNS 等の利用率が増え、中学 3 年生では LINE 利用率は 70%を越えている。Twitter 等の書き込みも多いため、センターでは毎朝サイバーパトロールを実施し、必要に応じて各校への情報提供に努めている。今週末には各校へ届け、市内全児童生徒に配布予定である。配布時には、各クラスでの振り返りとともに、自宅に持ち帰り保護者への啓発にも活用していきたいと考えている。

平成 30 年度青少年健全育成カレンダーの配布について報告する。今年度も、いじめ防止ポスター・標語の優秀作品と、相談機関としてのセンター電話番号等を記載した、平成 30 年度青少年健全育成カレンダーを、4,200 部作成した。今週末には各校へ届け、中学 3 年生が卒業するまでに、全児童生徒の家庭に配布してもらおう。また、各町には区長発送を通して、地区の補導委員や関係機関等については、3 月上旬に配布予定です。今回も多めに印刷し、新小学 1 年生にも、入学後配布を計画している。

教育委員より、今年も良い研修を実施していただいた。研修講座の成果と課題として、多数の他市町教職員の参加があったとあるが、どのような様子だったのか。また、逆に加西市の教職員が他市の研修会に参加する状況にあるのかとの質問がある。

総合教育センター所長より、英語科授業力向上研修会において、著名な講師を招聘していたため、播磨東英語科担当者会へ紹介したところ、当日参加者の半数近くが市外の教員であった。また、今回の交流を契機として、今後は他市の研修会の案内をしてもらえるため、来年度以降は参加者が見込まれる状況にあると回答する。

#### 1 1 協議事項

なし

#### 1 2 教育委員の提案

なし

#### 1 3 今後の予定について

- ・第3回定例教育委員会 3月28日(水) 14:00～1F多目的ホール
- ・第4回定例教育委員会 4月18日(水) 15:30～5F会議室(大)

#### 1 4. その他

教育委員より、こども園の入園について、第1希望園に入れず、第2希望園へ移ってもらう場合の基準について質問がある。

こども未来課長より、保育の必要性の度合い、保護者の労働時間、介護者がいる場合などに対して点数をつけ、持ち点により保育の必要性の比較をする。同点の場合、兄弟で施設に入っているなどの場合は加点になり、採点基準に基づいて調整をしている。緊急性がある方については、加点すると回答する。

#### 1 5 付議事項

議案第8号 加西市公立学校の管理職人事内申について

#### 1 6 質問及び討論の内容

議案第8号 加西市公立学校の管理職人事内申について

教育部長より、平成30年度学校管理職組織他について説明する。

17 議決事項

原案どおり可決

この会議録は、事務局員が作成したものであるが、真正であることを認め、ここに署名する。

平成 30 年 2 月 21 日

出席者

(出席者署名)